

木田市長の



vol.87

五木ひろしさん 第二のふるさとへ来る

去る3月21日、加茂小学校の竣工式に五木ひろしさんが特別ゲストとして参加してくださいました。突然、トップスターが地方の学校を訪れるということで大反響を呼び、多くの人々にざわいました。

五木さんのお父さんは、当時河内町にあったマンガン鉱山を買い取り、その経営を行っていました。河内、坂手そして外国から来ていた人などたくさんの方を雇っていました。

もちやがあり、子ども心にごいなあと感じたことを思い出します。

私は同級生であり、家が近くにあったため、よく一緒に遊んでいました。しかし、彼が転校していったことは覚えていませんし、さよならを言った記憶もありません。

彼がスター街道を駆け登るようになって、鳥羽に住んでいたことは明らかにしませんでした。

昨年3月に行われた加茂小学校の起工式の折に、私はあいつの中で、「五木ひろしを竣工式に招待する。」と、つい言ってしまいました。その招待状を出した結果、思わぬ大きな動きが起こってくることになりました。

まず、あの大変忙しい五木

さんから「ちようどこの日だけ空いていて、出席できるんだよねえ。」という電話が私の携帯に入りました。そして出席していただいた当日には彼のあいつの中で、「公に鳥羽にいたことを発表する、近いうちにこの会場で五木ひろしのステージを届ける。」というような発言がありました。

さらに学校に何か寄付をしましょうという提案が本人からあり、綴帳を贈っていただくことにもなっていました。

そして、ステージに関して具体的な話にまで進んできました。

五木さんは「今回招待がなかったら、私は一生ここへ来ることはなかったかもしれない」と言われていました。

ところが今回来ていただいて、子どもたちの前で、「ふるさと」をアカペラで唄い、同級生との昼食会では「契り」を唄ってくれました。この大歌手との「縁」を大切に、鳥羽市の宝物として育ててくれたらと願っているところなんです。彼にとつて第二のふるさとでのショー、みんなで楽しみに待ちたいと思っています。

山下憲一の

東京奮闘記!

vol.6



市では、昨年度から離島振興や首都圏での観光、企業誘致のPRを行うため、東京へ駐在員を派遣しています。

企画財政課企画経営室 ☎1101

二年目を迎えて

東京駐在員の業務も早いもので二年目を迎えました。

昨年度の活動を踏まえ、各省庁や国会議員との情報交換や、単に「鳥羽市」という商品を宣伝するだけでなく、「鳥羽へ行ってみたい」「住んでみたい」「ビジネスしてみたい」と思っていただけのように、本庁各課と連携し、影響力の大きいマスコミなどの協力も得て、本市の魅力も十二分に伝えることができる効果的なPR方法を模索していきたくて考えています。

先日は、タレントの堀口文宏さんが主催する「第1回三重県お宝グルメ試食会&トークライブ」にて、会場一杯の



堀口文宏さん(左)らとトーバ

約50名の観客を前に、鳥羽のPRをさせていただき、「とばーがー」を試食していただきました。観客からも「鳥羽へ行ってみたい!」という声をいただき嬉しく思いました。

鳥羽市を含め三重県を応援して下さっている堀口さんのように、昨年度は、故郷を応援して下さっている多くの本市出身者、鳥羽ファンのかたたちとお会いしました。

今年度は、それらのみなさんをつなぐネットワークづくりに取り組み、本市の魅力を情報提供していくとともに、鳥羽市出身者、鳥羽ファンが集まり、情報交換などできる場を創出したいと考えています。

まだまだ小さな輪ですが、残りの一年でできるだけ大きくし、一つでも多くのヒントを持って帰れるよう今年度も頑張ります。